

筑波大学新聞

第302号

編集責任 筑波大学新聞 編集代表 福原直樹

TEL: 029(853)2040・6699 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

ロンドン五輪 本学生・卒業生が大健闘



提供=北村大樹/アフロスポーツ

柔道 女子サツカーで銀メダル

2012ロンドン五輪 柔道女子78kg超級の杉本美香(ツツ・平成18年度体育専門学群卒)・女子サツカーの熊谷希世(体育4年)関係者が参加し、熱戦が繰り広げられた。このうち、柔道男子60kg級の平岡拓晃(徳寺学園職体育2年)の通り。

関係者からは在学生や人を含む9人が出場している。競泳女子1000m青泳きの秋山里奈(平成17年度附属盲学校高等部)が金メダルを獲得、競泳男子100m青泳きの河合純一(平成成21年度体育専門学群卒)が4位入賞するなど、活躍をみせた。(8面に関連記事)

本学Facebookページ イベント情報など公開

本学のFacebookページが今年2月末に公開され、本学に関する情報が公開された。

医学系棟にチョウゲンボウ

かいらしい来客だ。医学系棟にある加藤光保教授(医学医療系)は研究室のホムペに写真と掲載、マスコミに取材された。チョウゲンボウは、チョウゲンボウを飼育している。チョウゲンボウを飼育している。チョウゲンボウを飼育している。

筑波大学校友会ウェブサイト 本学関係者の交流を促進 同窓会の連絡ツールにも

本学OBOGや在校生、教職員の交流を促進する「筑波大学校友会ウェブサイト」の運営が7月1日から始まった。

筑波大学校友会ウェブサイト 本学関係者の交流を促進 同窓会の連絡ツールにも

本学OBOGや在校生、教職員の交流を促進する「筑波大学校友会ウェブサイト」の運営が7月1日から始まった。

筑波大学校友会ウェブサイト 本学関係者の交流を促進 同窓会の連絡ツールにも

本学OBOGや在校生、教職員の交流を促進する「筑波大学校友会ウェブサイト」の運営が7月1日から始まった。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

カーボンナノチューブを使用 太陽電池の高効率化へ期待

次世代エネルギー源として注目を集める太陽電池として、本学の岡田雅彦教授(数物系)と小鍋の研究室(同)は、従来材料として使用されてきたシリコンに替えてカーボンナノチューブを使った場合、より効率的な太陽光を吸収を取り入れることを理論的に解明した。1μmの10万分の1であるナノメートルサイズの物質を用いることで、光の吸収率が大幅に向上した。カーボンナノチューブは、従来のシリコンに比べて、光の吸収率が大幅に向上した。

つくば歳時記

8月25日と26日に開催された「まつりつくば」。浴衣に身を包み、祭りばやしや響く街に人々は集った。暑さが残る夏の夕暮れ、思ひ出がまたひとつ、心に増えた。(写真・原啓一郎=社会学類)

筑波大学校友会ウェブサイト 本学関係者の交流を促進 同窓会の連絡ツールにも

本学OBOGや在校生、教職員の交流を促進する「筑波大学校友会ウェブサイト」の運営が7月1日から始まった。

筑波大学校友会ウェブサイト 本学関係者の交流を促進 同窓会の連絡ツールにも

本学OBOGや在校生、教職員の交流を促進する「筑波大学校友会ウェブサイト」の運営が7月1日から始まった。



# 多分野の専門家が講演 テーマは「Vision」

異なる分野から集まった8人の学閥関係者が、専門分野について30分ずつのショートプレゼンテーションを行う、オムニバス形式の講演会「Tsukuba vision」が6月16日、本会館ホールで開催された。第1回の昨年に続く、



宇部ゴマを手にとって見せる達坂教授

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

## つくば市北条地区竜巻被害 歴史的建造物 大半が修復可能

安藤邦廣教授(芸術系)が、竜巻で大きな被害を受けたつくば市北条地区で被災状況を調査していた。歴史的建造物の大半が修復可能だという調査結果を出した。

調査は5月7日から6月2日を実施。歴史的建造物137棟のうち55棟が被害を受けたものの、全壊したのはわずか2棟。古の工法で取り付けられた瓦やガラス窓などは竜巻に

は、多くの人が見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。



竜巻で瓦が飛んだ建造物

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

## 子供に宇宙の魅力伝える 積極的な質疑応答も



中井教授に習い望遠鏡をのぞく子供

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。

は、およそ80人を見守る中、今年も講演者8人が、現在・未来について自分からどんなビジョンを持って活動してきたかをそれぞれの専門分野の視点から講演を行い、400人が参加した。













# 筑波大学の BRANDINGに迫る

（平成 24 年）9 月 10 日（月）

特集

（6）

本学の「FANG  
ローガン」「MAD  
NE THE FUTU  
RE」は、歌、横断幕  
どさまざまな形で学内  
広まっている。しか  
ブランドイングの実  
実情を知っている学  
どれたけいるのだう  
本学のブランドン  
迫る。中島佳奈二  
学、鈴木おる。望  
麗」比較文学部、倉  
美紀」国際総合学  
島光夫」情報科学

## 概要

筑波大学内の至る所で見かける「IMAGINE THE FUTURE.(以下ITF)」の文字。本学のブランド・スローガンで

月の学式披露され、その後セーティングやグッズなどが作られた。現在、多くの大学がラウンディング活動を行っている。本学も例外ではない。本学は「ITF」をスロガンに、教育・研究の成果を本学の価値を伝

## OB・OG 学生の活動

**OB・OG**

**学生の活動**

本学のブレンディング活動をしているのは、太学教職員だけでなく、ブレンディングへの想いを胸にさまざまな場所で活動するOB・OGや学生団体の取り組みを紹介しよう。

（昭和52年度入学生類で）  
作曲を西洋一郎さん、自然科学類出身が担当した）

OB・OGのユニークなイベント、ボ・カルやキャストをはじめ、多くのOB・OGが出演する。彼らの活動があってブレンディングが、活動が成り立っている。メンバーのほとんどはボランティアだといふ。

# OBOGと学生が本学

薄れ、約30年間、本学には数回しか訪れることはなかった。しかしフランドンク活動を始めたからは年に数回訪れており、つながり深まってきた。

「いざさんが講師を務める集中授業『創造学群表現学類』などを通して、学生と

に取り組んでいる。大学が中心で行われたフランドンクだが、ここでは、母校の役にしたいという志を胸に、助ける彼らの姿がある。

## 学生の活動

の魅力伝える  
ピー・漢考氏がある。  
「bast」による講  
演会「Tsuba」が  
6月に行われた。OBO  
40人ほど、発足

で、  
た。上へは、  
「ＩＴが好ましく、  
学生もおり、手応えを感  
じ始めているという。  
現在の大きな課題は「人  
員不足」だ。人員不足で実  
行まななうていかない企画  
も多いという。代表の中村  
真之さん（生物３年）は、  
「もっとメンバーが多けれ  
ば実行できる活動も増え  
る。興味のある学生は一緒

## OBOGの活動

大学のフンディングに、  
OBも登場する。これまで  
に、OBのスコアガン制  
度を始め、さまざまな企画  
提案・実施してきた。  
入式など敷かれるよう  
に入らなメッセージン  
フ・IMAGINE TH  
FUTURE 未来を  
生でのご体感が出てきて  
います。  
ITFの生みの親、コ  
ピライターの倉さん  
は、フンディング活動に  
積極的参加する一人。民  
間企業に就職したため、卒  
業してから大学との関わり

（の並々ならぬ熱意をもっている。「日本は、国会がめいめと設立された『新構想日本』日本一善文化レッシングな一書未来志向の『かっこいい大学』なのだ、と誇りをもちのびのびと過じてほしい」と話し、O B としての誇りを胸に活動する企業、運営や、T V での企画、展示されたO B のポスターのキッチ

学く下勤が好信むの

IMAGINE THE FUTURE.

燃料は  
失った睡眠時間。

筑波大学  
University of Tsukuba

IMAGINE THE FUTURE.

どちらにこ  
前に進む

学園祭の後夜祭で「IM  
AGINE THE FU  
TURE〜未来想え」の  
演出家話合っている。  
来年の「Tsukuba  
8」の準備も進めている。  
brast ホームページ  
http://www.brast-  
tsukuba.com/

## 他校の動き

の特許庁が公開している「大学におけるブランド活用」の研究報告書によると、もあって、学のアイデンティティを作り上げている。そしてそれを端的に表現したものが

副学長  
インタビュー

に集約してくれま  
す。——ブランドン  
の向上など、ブラン  
ドの展望は、教育  
の質や研究レベル  
の向上など、ブラン  
ドの向上など、ブラン

RE」というスローガンに恥じない学生になってほしいと思います。また、ブランディングを通

大学ブランドイ  
ング時代

大学全入時代の突入や国立大学の法人化などにより、国公立大学、私立大学とともに他校との差別化を図るためのブランドの確立が用いられた。

や教育理念の普及といった学生獲得につながる動機と、ロゴ・カラーの統一や学生の帰属意識の向上と

◆ ◆ ◆  
 敏富学長に、これまでを  
 経緯と今後の展望につ  
 て聞いた。

◆ ◆ ◆  
 —ブランドینگが  
 まった経緯は。

THE FUTUREに込められた意味と生きているために、作業がよりスムーズに進んだのだと思います。

——ブランドディングの目

日本語では「開かれた未来へ」という言葉が用いられています。本学

「はい。その通りです。先生、お話を聞かせてください。僕は、今から大学に入りたいと思っています。でも、今の僕には勉強の基礎が足りません。先生、どうすればいいでしょうか？」

先生は優しく微笑みながら、「まずは基礎を固めることが大切です。学校の授業をしっかり受け、宿題も认真完成してください。また、自分で勉強する習慣も身につけてください。」

僕は先生の言葉を聞き、うなずきました。そして、先生に感謝の気持ちを伝えました。

それから数ヶ月が経ちました。僕は毎日勉強し、少しずつ知識とスキルを身につけていきました。先生も僕の進歩を見て喜んでいました。

ある日、先生は僕を呼び止めて、「君の勉強ぶりが素晴らしい。もうすぐ入学試験があるけれど、君なら合格できると思う。頑張れ！」

僕は涙目で先生に感謝の言葉を述べた。そして、入学試験の日を迎えました。試験の結果、僕は合格しました。先生は本当に喜んでくれました。

これから先、僕は大学でさらに学びたいと思います。先生、これからもよろしくお願いします。

先生は笑顔で手を握り、「大丈夫だよ。君はきっと大成するだろう。応援してるからね。」

僕は心の中で、先生への感謝の気持ちをずっと抱き続けようと思いました。

## 本学の取り組み

山田学長は本紙2805号の取材に対し、筑波大学の特徴は①あらゆる意味で開かれてい②新しく学際的領域の研究創造③国際的がこれはスクールカラーとして有効だ。4月には運動部のユニホームカラーを統一することが発表された

任に際し、大学のアイデンティティを確立を目標として掲げました。その後、10年1月に行われた第14回卒業・筑波クラン

とて常新しいことに取り組み、未来創造のトップランナーを自負しています。開学から受け継ぎ理念を今後目指すべし。

——学生に向けて一言お願いします。

——学生



グの今後を語る鈴木

## 大学ブランドとは何か


クルカラーを用いたグッズの販売や配付を行なった。また、ローガンも決め、これらを持つ総合大学であるUICの学生活動の一環だ

ドフェスティバルで学長  
と倉さんが大学のフラ  
えません。そのような  
学の持つ価値を社会に

本学第  
期  
き天学像へ、  
生の一倉さんがこの一言

MAGI

多多くの  
思いが込められた  
この「I



ブランディング

副学長  
インタビュー

広報担当の副学長として  
本学のブランディング  
に取り組んできた鈴木久  
敏副学長に、これまでの  
経緯と今後の展望につい  
て話を聞いた。

「MAGNETIC FUTURE」という  
キャッチコピーです。  
——「MAGNETIC FUTURE」  
に込められた意味とは、  
教育の質や研究レ  
ベルの向上など、フロンテ  
ィングに見合った実装  
作っていくことが課  
す。将来は、筑波大  
言はこういう大学  
いう共通のイメージ

てほしいと思います。また、ブランディングを通じてこの大学が学生にとって、在学中はもちろん、卒業後も語るべき存在となることを願っています。



話を聞いた

教職員、学生は本学のフランドینگをどう思っているのか、これからさらにフランドینگを進めていくために、教職員と全学・専門学群代表者会議（全代会）、brastの学生に意見を聞いた。

● 知ってもうために、3年前から入学式グッズを配布している。昨年11月に右の広場で行列たッセル・ジソングのミュージックビデオ撮影では、多くの学生が集まり、また校内でITのトリートバック・ポロシャツを身につける学生を見かけると、学内で「ITFの認知度は高。」

● 社会へ発信し、大学評価を高くしている。しかし、そのことを知っている学生は多くはない。大学は文部省・ムベツなでその情報を発信することで、「大学もこれからの」と情報を発信していくのを学生も本学が未来高関心を持って見てほしい。

**職員に**  
**聞いた**

本学のフランドンク活動について、広報室中川洋さんに聞いた。

大学は学生にTFをスポーツ選の活躍を促している。今後学内広報に力を入れるという。TFという言葉は浸透しているが、それはフランドンクのキーワードに過ぎない。本学はTFというスローガルのもとに、教育研究成果や、社会貢献、スポーツ選の活躍を促している。今後学内広報に力を入れるという。

大学はフランドンク3者が協働して行うものだが、やはり大学の主役は学生、教職員、OBOGである。大学はそれらを援するタンス。中川さんは学生自身が筑波フランドンを確立していくべきだと学生に望んでいる。

# 大学の主役は学生

科学 先端  
HELLO!

# 職人気質のものづくり 選手のお記録をサポーター

大の課題となった」と高木教授。生地の厚みや水の通ひやすさに関しても数値で規制され、ラバーやポリウレタンなどの物質を生地に使ことが禁止される中で、開発や実験を繰り返した。

生地の厚みの特徴は顔顔と背側に、異なる性質を持った生地を組み

ぎなのキック時に足の曲り伸ばしをサポートする。

選手が泳ぎ続けると疲労が蓄積されていき、発揮されるパワーは徐々に低下していく。この水着を使わずで従来の水着を使えば、パワーの低下度を小さくすることができる。「キックの時

の部分の生地が伸びる。スタート時に身体が戻る。同時に生地の勢いがよく締まるため、飛び込みの初速を上げることができ。水着を着るとでスにスピードを速めるのではなく、選手の体力低下を防ぐことをサポートする水着」

また、全の製造工程

学生に  
聞いた

全代会

「『これ以上大学に求めることはない。大学の活動

で、ITPの存在知らない学生はほとんどいない。だが、「フランドینگ」として認識していない学生や、フランドینگの詳細や目的を知らない学生が多いのでは」と景山さんは話すと、景山さんは話

彼女らは「フランドینگ」と呼ぶ。

「歌やグッズ作成、ユニホームカラーの統一などのさまざまなフランドینگ活動は周知されていると思う」と話す。

学生たちが結束して、一緒に大学を盛り上げることが大切」と学生が行動する必要性を語った。

◆ 大学が目標とする学生と行うフランドینگ活動の理解のためには、両者の情報と情報を共有することが求め

## 情報の共有が鍵

の意識の差を偵知しては、学生も行動を起こさなくてはならない。大学から正式な要請が来れば、外部への発信力も増える。山田さんは考へて、

「brast」

brastは代表の中村さん（中村さん）の話を聞いた。

歌やダンス作成、ユニークなアイデアなどの活動は、学生も行動を起こす。

大学が目標とする学生行動には、両者の理解と情報共有することが求め

# 視点

本学のブランディングは、学生にもよく聞か  
 ね。だからこそ、学生、  
 教職員、OBOGが協力  
 し進める必要がある。  
 しかし現在、学生はI  
 Tを始めてと、与えら  
 れる立場にとまり、自  
 ら行動する学生は少な  
 い。それが口、本学が  
 何卒ブランドとして発信  
 しているのがわからない  
 だらう。だが、大  
 学の主役は生だ。学生

めに、大学は学生によ  
 この状態を改善するた  
 わかりです。情報を発信  
 する必要があります。一方、  
 学生は大学について興  
 味を持ち、主体的に関  
 与しなければならぬ。我輩  
 ブランドを高めるために  
 は、両者が互いに歩み寄  
 ることが不可欠だ。  
 本学が社会を価値を高  
 め、より誇れる高校にな  
 るよう、学生一人ひと  
 りが学部の構成として自  
 覚を持って動かし、

**大学と学生も協力を**

◆クツワムシ◆



メリカに移り住む移民も  
とは何か。

	原
点	
GEN - TEN	

褒められたのではない  
のですが、大学に入っ  
た最初の年、私は7単  
位しか取れませんでした。翌年  
の成績も  
全くはっ  
としませ

多民の複雑な影響を讀み解

## 放浪の経験が研究動機

からの時代は英語から、  
身につなぐと、とい  
うほどの軽い気持ちで、白  
本を離れたのです。しか  
まごなすアルバートとい  
外は日課がない。所在  
がない毎日でした。そんな

# 放浪の経験が研究動機に 移民の複雑な影響を読み解く

僕はバイエルン州のバイエルン州に生まれ、1990年代から、当時は「就職氷河」で荒廃していた時代に、学生に対する支援の目途のせいとは、研究を本格的に意識

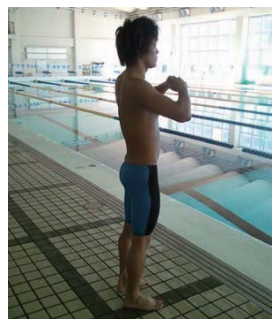
し性分が、3カ月を待たず、私は一介のバックパッカーになった。ヨーロッパを中心に、目的地もめず約40の国をめぐり、150ほどの都市を歩きまわった。数カ月程度の中途半端な旅の繰り返しです。

な無為の目のうちに、ヨーロッパに現し、コンペラーの異様な熱気にあふれたのちに、ません、バレーのハチタ企業を支え、時には樹木業と興し成功するTエジニアたちは、メディアの脚光を浴びていました。

そこには海外から



けず。かつては実に越えなかった越えよう。国際社会の現象への私の関心は、そんな体たけから、膨らんだと思えます。なせ人境を越えるのだろとにはいかなる方法があるのだろ国民は誰か。国籍ナシ論



腹側と背側で異なる素材の水着

で、その合間にはバイトとサークル活動に明け暮れていたためです。バブルが弾けた1990年代の前半のことで、当時は今と同じく、「就職氷河期」という言葉で形容されるほど、大学生に対する逆風が吹いていた時代でした。自分のせいとははいえ、大学を卒業する目



となった。その他の試合でも4連勝を引っ張り、バスケットに出に貢献した。準決勝では前回大会優勝のドイツ代表と対戦。日本代表は開始直後の第1分にすきをきつた。カレ・アホ、前半13分、19分にも得点した。前半を0-3で折り返し、現在

U-20女子日本代表の試合順位は以下の通り。  
グループリーグ：日本4  
1ヌキギリ▼日本2  
2ニュージーランド▼日本4  
3オーストラリア▼準決勝：日本3  
4韓国▼準決勝：日本3  
5ドイツ（9月5日）



# 団体競技で3年ぶり第1位

体操

技に集はきたのになつた  
たとえは語つた  
堀口は団体、跳板、斜転  
直転、繰の全ての野で  
優勝、堀口はプレッシャー  
は感じかつたが、全争の  
五分で優勝できるように気  
をきり諦めて挑んだ。完璧  
な演技はなかつたが、結  
果が出たのでよかつたが、  
語つた。(12面)関連写真

前原圭、吉村暢子、安高  
賢貴、第1位相原利恵同  
1年、窪田佑希第2同  
1年、松浦佑希第3位  
体操競選選手権

男女ともに入賞

第10回全日本学生体操競  
技選手権大会が、8月22  
25日、仙台市体育館(仙台  
市太白区)で開催された。

関東甲信越大学体育大会  
男女ともに優勝  
東日本大会でも好成績

女子がベスト4  
第55回東日本学生バドミントン選手権大会が8月31日から9月7日にかけて北

女子団体は準決勝の横浜国立大（YNU）で勝利し、決勝へ進出。決勝戦では筑波大に3-0で快勝し、優勝という結果を収めた。

東日本学生選手権

優秀選手に笹山  
 バスケ

第52回関東大学バスケットボール新人戦が、5月26日・6月17日にかけて国立代々木競技場第二体育館（東京都渋谷区）で行われた。本学は決勝戦で

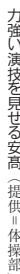
78・62で勝利した。準決勝では拓殖大の個人技と激しいディフェンスに苦しみながらも、重要な場面で得点を重ねて74・63で勝利し、決

第31回東日本バレー


リドですが、後半は東海  
 太のイサイド陣に量  
 のリパットを奪われ、逆転  
 を許してしまう。本はア  
 ウトサイドからの攻めやフ  
 レディブエンスを用いて  
 粘り負けたが、82-94で  
 敗れ、準優勝となった。  
 吉田健司監督（体育系・

できた。リーグ戦との流  
 れに乗って戦いたい」と  
 語った。  
 個人賞は以下の通り。  
 大谷秀孝選手賞 アシスト  
 王哲山賞哉（体専）年  
 3ポイント王 王坂拓司（同

ドを許し、中盤に同点まで



本学が得た結果は、  
 の得。【男子個人】▽斜軋・  
 安高賢員（エシス3年）  
 第1位 跳躍・安高賢員  
 第2位 星野郎（同）  
 第2位 直軋・安高賢員 第  
 2位 総鞍・安高賢員 第  
 1位 【女子個人】▽斜軋・  
 畑口文（休専2年）第1  
 位、松浦清希（同2年）  
 第2位、小出奈美（同3  
 年）第3位▽跳躍、畑口  
 文（同4年）第2位  
 前原千佳（同4年）第3  
 位▽直軋、畑口文（第1  
 位、松浦清希第2位、  
 子（同4年）第3位▽総  
 鞍、小出奈美（同4年）  
 第6位▽女子個人総鞍、小  
 山愛（第7位）

**バドミントン** 

関東甲信越大学体育大会

**男女ともに優勝**

関東甲信越大学体育大会が8月29・31日にさいたま市記念総合体育館(さいたま市桜区)で開催された。

今大会、本学は男子団体・女子団体ともに優勝を果たした。

男子団体は予選リーグで宇都宮と対戦し、4-1で勝利。続く準決勝でも信州大を相手に5-0で快勝し決勝への進出を決めた。

男子団体はベスト4で日程を終えた。

男子団体は1回戦の仙台大、2回戦の北翔大相手にそれぞれ3-0で勝利し準々決勝では本大と対戦し、3-2で敗れ、ベスト4に1つ結果に終わった。

女子団体は2回戦、東京電機大相手に3-0で快勝。準決勝に進出し、日本体育大相手に3-2で勝利し、ベスト4で全試合を終えた。

優勝した。また、東海大は惜しくも敗れ、準  
初戦で武蔵大にはうり  
43で完勝。2回戦の関東  
学院大とは終盤まで接戦こ  
なった。第4ヒートまで、  
7点リードがあったが、  
本学のオウエンスのミガ  
重なり、追いつかれる。し  
かし本学の3Pシューが  
効果的。休まり、84-75で  
勝利した。

続く準々決勝では国士  
館大に対戦。前半はリード  
を広げるが、後半はオウ  
エンスがリバウンドで勢い

男子第2  
女子はベ  
バレー

第31回国日本バレーボ  
ル大学選手権大会（国日本  
イカ）が6月28日（土）  
7月1日に、かつて北海さ  
える、札幌市豊平区で  
行われた。男子は第3位  
女子はベスト8という結果  
で全日程を終えた。

男子は初戦の亜細亜大

# 3位入賞

## ベスト8に

2戦目1号都宮大、3戦目の早稲田大を相手に、これだけ30でストレート勝ち、準決勝まで順調に勝ち進み、決勝進出を懸けて中央大対戦。第一セットでは序盤からサーブやバックで先制点を獲得するが、その後詰りつづれ、23-25で敗れた。続く第二セットでは、序盤から相手はサー

女子は初戦の桐蔭横浜

# 天皇杯 F C 琉球に勝利

## 次戦はJ1鹿島と対戦

**サッカー**

天皇杯

**延長線の末勝利**

天皇杯全日本選手権第1日が9月1日、全道各地で行われた。本学は松運動公園陸上競技場（那珂市）で神興代表のJFL・FC琉球と対戦。延長戦の末、3球で勝利し、2回戦へ進めた。

後半5分に先制点を挙げたが、後半17分に宇野の赤崎選手が体中3点を投入。後半39分に赤崎が同点ゴールを決め、試合は延長戦に。延長戦開始33分、野嘉大（同2年）のゴールで逆転。中野は18分に得点を決める活躍を見せた。その後反撃を許さず、延長戦も無失点に抑え、勝利。昨年は初戦で敗退したFC琉球は、Jリクの下部組織であるJFLに属するチーム。元日本監督のフリップ・トエが相談役を務め、2年には日本代表FWの朝和樹を獲得するなど、年補強に力を入れた。2回戦は8日、カシオスタジアム鹿嶋市で、鹿島アントラーズと対する。

<p>総理大臣杯 ベスト8に進出</p>	<p>赤崎(同)が勝ち越し ゴールを決めた。</p>
<p>Ｊ・GREEN堺 堺市 堺区。なごや月8・16日、 第36回国産大臣杯名古屋大 学サッカートーナメントが 行われ、関東予選で準優勝 を果たした本学は、関東第 2代表として出場、準々決 勝まで進み、ベスト8の成 績を収めた。</p>	<p>後半勢いは止まらず、 開始直後に谷口彰悟(同) が得点を決める。後半15 分に赤崎、後半40分は前 原拓哉(同)がゴール。後 半ロスタイムに道都大の ゴールを決められたもの の、5-2で勝利した。</p>
<p>2回戦の中国第一代表 環太洋大戦でも本學陣は 好調維持した。玉城峻吉 (同)が2得点を決めるも 、5-0で勝利。準々 決勝に進んだ。</p>	<p>準々決勝では関東第5代 表の磐城大と対戦、前半26</p>
<p>の1回戦北海道第2代表 の道都大と対戦。前半16分 に先制点決められるも、 そこから攻撃陣に勢いが出 た。前半26分に山越幸太郎 (休まず)が同点ゴール を決め、前半終了間際上</p>	

関東リーグ戦

**5位で前期終了**

第6戦関東大学サッカークリケット戦の前日日程が各自7日(金)6月24日に国西高等学校が日ノ宮球場(東京都北区)で行われた。本学は12人1人中5位に終わった。

前の、

前の第6節までは勝2敗のリーグ2位と健闘が、第7節の流石な本戦で、1-1で折り返した。後半十分に谷口彰悟・休真3年、が度目の奮起を受容して過渡期になると一気反転が通った。オウンゴールを含み4点失い、1-5大敗

つきの前日日程は、0-0で折り返した。しかし、後半は打って変わった。駒澤大学は後半17分、19分位で続けてゴールを許す。その後流れに乗ず、反撃することができなかった。1-2で敗戦し、ベスト8の結果敗戦した。

関東予選の試合の結果は以下の通り。

▼筑波5-0大東文化大  
▼筑波4-32相模大  
▼筑波4-2平成国際大  
筑波4-2中央大  
▼筑波2-2(PK6-7)早稲田大

続「明治大戦では相手を上回るリシュトを放たが2人で引き分け。専修大戦は先制に相手に連続得点許しと15で敗戦した。順天堂大戦では高橋秀平(同3年)と瀬沼優司(同4年)がゴールを奪い2-0で勝利。専攻がトッセンだもの、慶應義塾大の最終戦は0-2で敗れた」

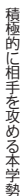
個人賞では、赤崎が得点王キタ3位、上村(同3年)アシストランキング2位。9月15日からの後期日程での活躍に期待がかかる。



積極的「相手



【男子】ブロック賞■李博  
(休専4年)



に、それだけ3セットを  
に、それぞれ3セットを  
を連取してストレート勝ち  
と対戦。シッソーゲームとな  
り、第5セットまで持ち込  
むも13-15で奪われ、惜し  
くも敗れた。中西康己監督  
(体育系准教授)は「今  
回はセッターに1年生が出  
るなど下級生が出場し、良  
い経験になったと思う。今  
後は高さを活かす、ネット  
際の攻撃と守備を強化し  
ていきたい」と語った。

個人賞は以下の通り。  
【男】ブロック賞＝李博  
(体育系4年)





## ボルドー第2大学 フランス

佐々木のか

私は、フランスは南西部のボルドーという街にいます。「ワインの国」と言えるのは、開いたところがある人にもいるではないでしょうか。他にもモンテスキューの故郷、なま、さまざまな肩書を持つ街です。ボルドーの人々は「フランス第6番の都市」、すなわち都会というところを強調しがります。

ボルドーの授業は全てフランス語で行われます。教授はほとんど板書せず、2時間休めなく話し続け、学生はそれをノートに取るという形式です。

## 時間がゆっくり流れる街

## 第1回 T-ACT 活動報告会

# 被災地への支援活動を発表

「第1回 T-ACT 活動報告会」は、10月10日(土)にボランティアクラブが主催する「被災地への支援活動を発表」の報告会を開催しました。本学が参加した「9月9日(土)に大学会館国際会議室で開かれた。本学が参加するボランティア団体と、つくば市周辺のボランティア団体の連携強化を目的に本学が主催した。会場は、つくば市 For 3、11、社会福祉研究会、学生ボランティアセンター、つばな本学ボランティア団体、各団体はプレゼン形式で活動を紹介した。

「平成24年度 大学説明会 各学類の魅力を紹介 全国各地から高校生集まる」

「平成24年度受験生のための筑波大学説明会」が、7月30・31日と8月1日に本学で開催され、全国各地から多くの学生が参加した。大学による質疑応答

「平成24年度 大学説明会 各学類の魅力を紹介 全国各地から高校生集まる」

「平成24年度受験生のための筑波大学説明会」が、7月30・31日と8月1日に本学で開催され、全国各地から多くの学生が参加した。大学による質疑応答

「平成24年度 大学説明会 各学類の魅力を紹介 全国各地から高校生集まる」

「平成24年度受験生のための筑波大学説明会」が、7月30・31日と8月1日に本学で開催され、全国各地から多くの学生が参加した。大学による質疑応答



「平成24年度 大学説明会 各学類の魅力を紹介 全国各地から高校生集まる」

「平成24年度受験生のための筑波大学説明会」が、7月30・31日と8月1日に本学で開催され、全国各地から多くの学生が参加した。大学による質疑応答



「カフェで友人との一枚」

「カフェで友人との一枚」

「2学期制移行前に改めて問う 3学期制をとったのか」

「2学期制移行前に改めて問う 3学期制をとったのか」

「2学期制移行前に改めて問う 3学期制をとったのか」

「2学期制移行前に改めて問う 3学期制をとったのか」

「2学期制移行前に改めて問う 3学期制をとったのか」

「2学期制移行前に改めて問う 3学期制をとったのか」



## 学生、教職員の歌い手を募集中



# Who's Who?

国画賞を受賞

## 渡部 直さん(芸術博士後期1年)



木槌でミミを手にとり制作に取り組み渡部さん

6人棟1階のそのアトリエには、スノボの香りが漂っていた。木槌でミミを打つ、目の前の木のかたまりが少しずつ形を変える。スノボの独特な香りが好きだ。そう、渡部直さん(芸術博士後期1年)は話し始めた。今年5月に開催された第86回国展

(国画会主催)の彫刻部門に出品し、同展最優秀の国画賞を受賞。国展は絵画と彫刻が5部門からなり、学生からプロの芸術家まで広く一般から作品が集まる日本最大級の公募展だ。受賞品、赤い上着男は、ミミを一つにしがみ、どこか心穏やかで

ない男の蒼蒼と、荒々しい質感を出した着衣(バカ)の赤い糸目を引く作品だ。受賞品が最初ではない。2010年は芸術専攻卒業生制作展で同展最優秀の筑波大芸術賞を受賞し、11年に同作品が第85回国展で新人賞を受賞した。

小・中学校時代に授業で作った絵や工作を褒められた経験から、美術が好きになった。だがこれ以上の気持ちはなく高校時代は理系でアビエ部に所属。美術からは遠ざかっていたが、進路決定の時「自分が、生きているものをやりたい」と美術を学ぶことを決意した。高校卒業後1年間、美術系の予備校でデッサンや彫造などの勉強をした後、本学に進学した。

渡部さんの専門である彫刻は、大型作品の場合、多くの制作プロセスと時間を要する。本学入学以前は彫刻とは無縁だったが、何事にもじっくりと時間をかけ、多量の自分についていると思い、本の彫造コースに進む。制

## 木に新たな「歴史」刻む リアリティと新鮮さを表現

「目の作品を持って行く」、生徒が

作では、高さはどのくらい丸太を使い、チェーンソーでミミに至るまで数10種類の量を使い分け、「フミ」のこぎりで切り取り、木に求めた形と符合する時には、新鮮な印象が生まれる。

3年前卒業制作を経て、制作への意識を大きく変えてきた。制作行為は、制作行為の蓄積である。「木にはこれまで成長してきた長い時間があり、そこに自分が彫るという行為が蓄積する。制作行為の蓄積は、木に新たな歴史を刻む」と渡部さんは語る。

「赤い上着の男」の制作では、内面の心理の表現にこだわった。モデルは、その心理を一番理解する自分。「制作行為の蓄積」というコンセプトを意識し、彫り跡を残した質感に仕上げた。月に1、2回は「美術講師」として中学校に足を運ぶ。進路は未決でないが、教師という選択肢も考える。



受賞作品の「赤い上着の男」

### 編集後記

編集部の争奪は編集期間と共に集まり、編集室には皆が持つてきてくれたおみやげが山積み。Kが作ったタートナツをはじめる。作業中の皆の小腹を満たしてくれました。そこでRの韓国女性の唐辛子チョコやマンリョチョコは、大変異彩を放つておりました。そんな中、「家が停電した」といって編集室

## ひらめき☆ときめきサイエンス



本学生とともに望遠鏡を作る参加者

2面へ

## パブリックビューイング



双葉町出身の渡部選手に熱い声援を送る

8面へ

## 全日本ラート選手権



見事な演技を披露し、5種目で優勝した堀口(提供=体操部)

9面へ

## オープンキャンパス



本学を訪れ、キャンパスを見学する高校生

10面へ

学内総合

スポーツ

スポーツ

学生生活

次号は  
10月22日(月)  
発行予定です